

防災について考えましょう!!

3月11日の東日本大震災から、1年経とうとしています。

日常の食事に感謝の気持ちをもちましょう

震災直後は、ガソリン等の燃料不足や流通経路の遮断、食品工場の破損等で食料や輸送等のライフラインが止まってしまいました。我孫子中学校の給食もパンと牛乳だけの簡易給食の日がありました。寒い時に作っていた、温かい汁物や煮物が無くなって、どれだけこれ等の食べ物が、身も心も温めていたのかが、はじめてわかりました。私たちが、日常あたり前のように食べている給食ですが、食材の生産者、納入業者、給食を調理する人達、そして給食費を払う保護者と、本当にたくさんの人々の力でできているものです。もう一度普通の給食を食べられる幸せに感謝しましょう。

我孫子中学校での防災給食についての取組み

11月18日に防災給食をだしました。

メニューは、牛乳、梅干しおにぎり、けんちんうどん、みかん、大豆の甘煮でした。

当日のおにぎりは、水道水が使用できなかった場合を想定して、

必要最低限の水を使いました。又、食事前に十分な手洗いが
できなくなる事も想定して、調理員が握ったおにぎりを

1個ずつラップで包んで出しました。

いつもの給食と比べて質素でしたが、生徒達は日々の
食事に感謝しながら食べていました。



卒業する3年生の皆さんへ

我孫子中学校での、3年間の給食はいかがでしたか？
小学校、中学校での義務教育6年間で、毎日給食には牛乳を出してました。これは、日本だけの事で、他国から給食の視察に来た人々は、素晴らしいことだと驚くそうです。10代は、カルシウムを骨にどんどん貯蔵し、密度の高い骨を作っていく時期です。今から毎日牛乳を飲むことで、骨粗鬆症などになりにくい丈夫な骨ができます。高校生になっても、忘れずに牛乳を飲んで下さいね！



毎日2本が目標ですよ！